



人気の切り花品目に挑戦！

ユーストマ F₁
'マリーナ マリン'

ユーストマ F₁
'オードリー'

ユーストマの春まき栽培

春まきなら栽培期間が短く
タネからも育てやすい！

切り花で人気のユーストマ。花の大きさや形、多彩な花色があり、和洋選ばず花束やアレンジメントなど、さまざまな演出で楽しめる大変魅力的な植物です。タネから育てることは手間がかかり、難しく感じる方もおられるかもしれません。が、ユーストマの春まき栽培は、秋まき栽培に比べて栽培期間が短く、気温が暖かい時期なので比較的容易に栽培でできます。花の大きさはやや小さめになりやすいこともありますが、今回は失敗が少ない春まき栽培についてご紹介します。

タネまき

タネまきはハウスや室内で行います。用土は「タキイたねまき培土」のような、消毒されていて排水性や保水性のよい土を使用します。土に肥料分が少し含まれたものを用いると、発芽後の生育が早まります。生産農家ではプラグトレイにタネをまきますが、今回は管理が楽で簡単なボリポットに直接まく方法をご紹介します。

ポットの大きさは7・5～9cmを使用します。ユーストマは病気に弱いので、必ず新品か、よく洗った清潔なものを使つてください。ポットに土を詰め、水をポットの下から流れ出るまでたっぷりと与えます。ピートモス主体の土は水を含

むと土の高さが下がるので、やや多めに土を入れておきます。タネはコーティングされたペレット種子なので、乾いた手でタネまきをしましよう。7・5cmポットには4粒程度、9cmポットには6粒程度、間隔をあけてまきます。ユーストマは光好性種子なので覆土はしません。タネをまき終えたらコートイングが溶けるように、細かい目のハス口で軽く水を与えます。ポットをトレイの中に置いて水を少し張つておくと、水やり作業が省力されます。

発芽や育苗の適温は20℃なので、適温を目指して管理してください。15℃以下では発芽や育苗の日数が長くなります。平均気温で25℃を越えると※口ゼット苗になります。抽苔せずに花が咲かなくなるので気をつけましょう。

※高温口ゼットって？

タネまき後、タネが吸水し始めてから、本葉が4枚くらいになる間に高温を受けると、植物体が口ゼット状（茎が伸長せず節が詰まつた状態）になってしまいます。このことがあります。品種間差もありますが、高温は平均気温で25℃以上といわれています。高温口ゼットになると、一定期間の低温に遭遇しないと抽苔せずに開花には至りません。



タキイ研究農場
むかい ゆたか
向井 豊



日の当たる場所に置き、表土を乾かさないように管理します。タネまきから2～3週間で発芽するので、発芽が揃つたらポットをトレイから出し、上からハス口のジョウロで水やりをします。下から水を吸わせ続けると過湿ぎみになつたり、ポットの穴から根が出てしまい、植え傷みや病気の原因となります。

水やりはポットの表土が乾きかけたら行います。葉の色が淡いようなら100倍程度の液肥を週1回程度与えます。順調に生育すれば、タネまきから2カ月で本葉が4枚以上になり、本葉が6枚くらいになるころには茎が伸び始めます。

このころにはもう高温で口ゼットにはならず、高温と長日で開花が促進するようになりますので、20℃前後で温度管理する必要はありません。夜温が15℃以上で昼の温度が30℃以下を目安に温

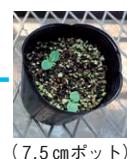
度管理をしてください。温度が高い方が生育は良好です。

度管理をしてください。温度が高い方が生育は良好です。

間引き

本葉2枚くらいの時に7・5cmポットでは2本、9cmポットでは3本くらいに間隔をあけて間引きましょう。

鉢上げ



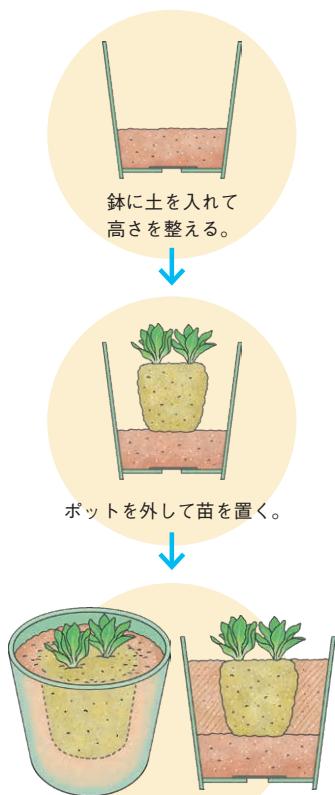
本葉6枚くらいになつたら5号以上の鉢に植えます（プランターの場合、株間は12cmほどになります）。



鉢は新品かよく洗ったきれいなものを準備し、用土は長期肥効型肥料の入った消毒された市販の培養土を使用します。植える深さは鉢の表土とポットの表土が同じ高さになるように植えます。

ポットに十分根が回つていない時期で根鉢が崩れやすいため、植え替えをする前にポット苗に水をやり、少し手で握つてポットの土を固めてから植え替えるとよいでしょう。

鉢上げのポイント



ポットの表土と鉢土の表土が同じ高さになるようにする。

育苗と同じように、よく日に当てて栽培します。夜温が15℃くらいになれば屋外でも栽培できます。水やりはやや乾きかけたらたっぷりと与えます。雨に当ても大丈夫ですが、生育後半はできれば葉には水をかけないようにします。

10cmくらいの茎が伸びたら支柱を立てて誘引します。茎の太さが爪楊枝くらいなら、やや肥料が不足ぎみなので緩効性の肥料を与えるか、1000倍くらいの液肥を週1回程度与えてください。

やがて茎の先端に花芽がつきます。また分枝した枝にも花芽がつき、下から咲き上がっていきます。花芽が見えてから約1カ月ほどで開花します。花は湿気弱いので、花には水がかからないように注意しましょう。

病虫害防除

アブラムシ、オニシツコナジラミ、スリップス等が発生します。見つけ次第防除します。立枯病予防には、清潔な用土や鉢の使用をおすすめします。

ユーストマ 特性一覧

植物名：ユーストマ（通称トルコギキョウ）
学名：Eustoma grandiflorum
分 布：北アメリカのネブラスカからコロラド・テキサス、メキシコにかけて分布
植え付け：鉢植え
鉢／5号鉢以上 用土／消毒した弱酸性～中性のもの 草丈／50～70cm 株張り／12～15cm
庭植え 土質／弱酸性～中性に矯正する 草丈／60～70cm 株張り／12～15cm
生育条件：日光／日当たりのよい場所 土壤／適湿 耐暑性／強 耐寒性／弱

年間栽培歴と管理作業

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
タネまき・植え付け時期			タネまき			鉢上げ						
開花期												
温度管理				タネまきから抽苔まで20℃		抽苔後15～30℃						
肥料						葉の色を見ながら1000倍程度の液肥を与える						
水やり					前半は水は多め		過湿や過乾燥に気をつける					
薬剤散布							虫は見つけ次第薬剤散布する					